

くらしの
相談など、
いつでも
お気軽に

日本共産党 武蔵野市議団ニュース

2008年12月14日

No.112

《連絡先》

梶 雅子 47-9391
橋本 しげき 36-3110

発行 日本共産党武蔵野市議団 Tel 60-1888 fax 51-9485

12月議会

【梶 雅子議員】

今回は、(1) 深刻な景気悪化のもとで、市ができる支援策について
(2) 市立境幼稚園について、の2点を質問しました。

市長の答弁は

- (1) 今回の経済危機は、アメリカに依存しすぎた、新たな金融資本主義の破綻で、市内の事業者も大変厳しいと聞いている。商店街連合会がアンケートを実施しようとしているので市内の実態をつかみ、今後の課題をつかむ。「緊急保証」は1ヶ月で167件の申込みがあり、即日での対応をしている。1月からは市の改正融資あっせん制度をスタートさせる。大企業には、「雇い止め」などについては労働基準法を遵守してほしいということ saying っていく。
- (2) 地域と一体として子育て支援をしてきた境幼稚園のノウハウは生かしていく。今後は、0～5歳児の保育、幼児、未就学児の3つの機能を持った保育所型の認定こども園を考えたい。保育は認可保育園を考える。

私は(1) 介護保険について、(2) 周産期医療について、
(3) 定額給付金問題について、の3点質問しました。

市長の回答は、

- (1) 今年度で介護利用料5%助成制度や通所系事業所への一食あたり200円の食事助成が終了するが、来年度以降については策定委員会の結論を待って最終判断する。低所得者対策は必要。保険料は大きく値上げはしたくない。介護保険料を10段階に分けているやり方をさらに累進的に設定したい。
- (2) 安心して出産できる医療体制の確立のため、市として武蔵野赤十字病院に支援の必要性を感じており、来年度の支援策について協議中。
- (3) 定額給付金の効果ははなはだ疑問で、いかがなものか。武蔵野市民に20億円規模で支給されるが、20億円あれば色々な工夫ができる、とのことでした。

1月の無料法律相談

1月13日(火)午後1時30分より(予定)

【毎月第2火曜日が法律相談日です】
* 日本共産党市議会議員控室
* 各議員まで予約を
* 武蔵野法律事務所 弁護士が
相談にのります

多くの方に傍聴いただきありがとうございました